

学習の準備をするために！

～忘れものが多い、提出物が出せない～

(1) 困っていること

- 一斉指示だけでは、十分に理解できない。
- 聞いたことを覚えられない。
- スライド制時間割は、生活リズムが作りにくい。
- 教科担任制だと、学級担任が全ての提出物を把握することが難しい。

提出物が何だったのかが、分からない。

この字が曲がったから、出したくないな……。完璧じゃないからね。

1分過ぎたから、もう出せない。

いつ出すんだっけ？



(2) 要因

語彙理解や短期記憶が弱い。
聞きとりにくさがある。

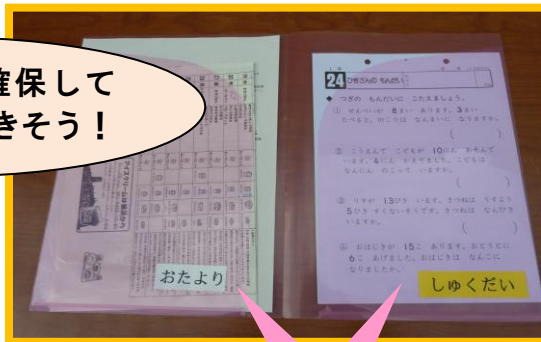
そこで…

(3) 対応

視覚的な手がかりの工夫をしよう！～分かりやすく・メモを取りやすく～

①ホルダーの活用

入れる時間も確保してもらえると、できそう！



入れる物を明記しておく。

見開きクリアホルダー

- 入れる物分かる。
- 右と左で、入れる物を決め、分類して入れる。



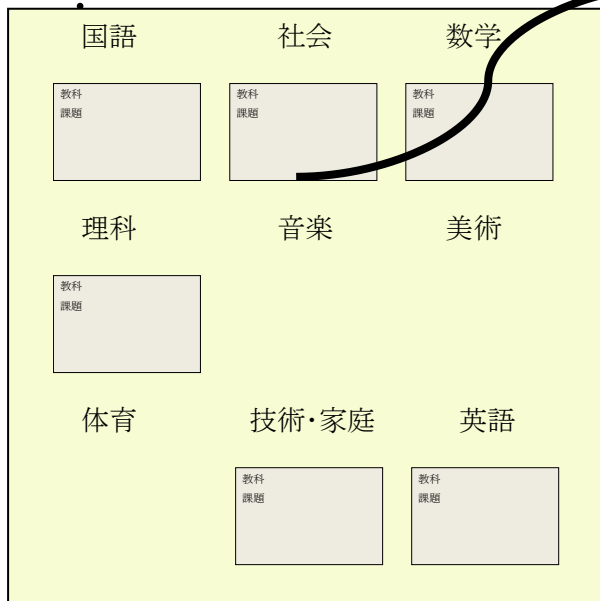
色つきクリアホルダー

- 例えば、中学校で…
- 「進路関係の提出書類は黄色」等、学級全員で揃えておくと、誰もが分かりやすい。

ホルダーの色分けについて、家庭と共通理解しておくと、提出するように声をかけてもらいやすくなります。



②宿題や提出物の掲示の工夫



教科	社会科 鈴木 先生
課題	歴史新聞
提出期限	9月 3日(金) 時 分
提出方法	社会科の授業中
その他	

期限が過ぎたら、各教科で指示カードは片付けましょう！
片付けの係分担を決めておくのが、
コツ！

- 模造紙に9教科分の枠を作り、各教室に貼り出すことで、どの教科から指示が出ているか、分かりやすくなる。
- 教科担任は、指示カードを記入し貼る。
- 指示カードは全教科共通のものを使用すると見やすい。
- 指示カードの記入内容は教科名、教科担任名、内容、提出期限、提出方法、等

③掲示場所の工夫



- 黒板周りをすっきりさせることは大事。(2ページ参照)
- 移動可能なホワイトボードの利用やテレビのカバーの活用等も工夫できる。

見やすいと、本人なりに整理がしやすくなります。

家庭では、将来も視野に入れて、カレンダーやシステム手帳、パソコンや携帯電話のスケジュール機能を使えるように、提案しては…。



④ 2日分の日課表

明日の予定		50	今日の予定	
30	日月曜		27	日金曜
1	数		1	集会
2	英		2	体 <small>フール道具 ×はくた、ミサキ</small>
3	理		3	社
4	社		4	清掃
5	学			<small>持 体育館ばき 筆記用具 宿題(美術 英語)</small>

- 2日分の予定が分かることで、見通しがもちやすい。
- 1単位時間50分授業だと分かる。
- 持ち物が書いてあることで、準備をすることができる。

みんなにも、便利!

分かりやすいね



⑤ ホワイトボードの活用

9月27日(月)	
1	国語
2	体育 <small>体育大会 練習</small>
3	家庭科 <small>洗たく</small>
4	家庭科 <small>洗たく</small>
5	社会 <small>江戸時代</small>
6	算数 <small>分数</small>

宿題	
12	おのノート
	音読

持ち物	
家	前日着ていたTシャツ
	洗たくばきみ 2ヶ
	ハンカチ
・	体操着

- 見やすく、メモすべきものをなるべく簡潔に示す。
- ミニホワイトボードに記入することで、いつでも、メモを取ることができる。
※黒板に書くと、授業の際に消さなければならない。ホワイトボードなら授業で黒板を使う時は一時的に外しておくことができ便利。

⑥ 連絡帳の活用

書くページをクリップでとめておけば、作業効率が上がって自信につながるかも…。



月 日 ()	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

宿題
持ち物

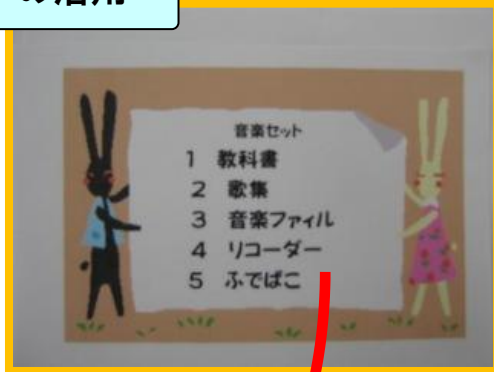
- 黒板に掲示してある日課表や宿題、持ち物と同じようなレイアウトのメモ用紙を準備しておくと、写しやすい。



そこで…

一人で準備ができるようにしよう！

①持ち物カードの活用



②手提げ袋の活用



- 音楽や家庭科等で、学習に必要な物を記入した持ち物カードを用意。
- 数字とマッチングさせることで、「5つ必要」等、数でも確認ができる。
- 教科ごとに必要な物を1セットにまとめた手提げ袋をロッカーに置き、持ち物カードを見ながら、持ち物の確認をする。
- カードと手提げ袋がセットになっていると、確認しやすく、忘れ物が少なくなる。

ぼくの気持ちに気付いてよ。どこで、困っているか
確かめて！

自分で確認できるようになるために、どんな方法がいいか、本人と相談してみましょう！
今、できていることを使っていきながら、スモールステップで！



ちょこっとコラム ノート編

中学生のB君は、どの教科もノートの見開き右側の上の方にしか書こうとしません。各教科で困っていることを丁寧に聞き取ると意外なことがわかりました。B君は、左右両面に文字が書かれていると、字が重なって見え、判読不能になってしまうのです。さらにB君は分数を書くのも苦手でした。B君にとって、同じ罫線の中で、字の大きさを自由に変更して書き表すということが大変難しかったのです。数学に関しては罫線のないプリントを用意しました。すると、書くスピードも格段に早くなり、問題もスムーズに解けるようになりました。B君にはもともと学習の遅れはなく、紙にうまく書けないことが原因だったのです。本人の能力を私たちは間違った見方で判断しているかもしれないと、気付かされた出来事でした。